



熱中症に注意して下さい！ -7月は熱中症予防強化月間です-

東海地方に梅雨明けが発表されました。平年より1日早いようですが、これから本格的な夏がやってくるとともに、熱中症の患者が急増すると思われます。

熱中症に関心が高まったのは平成19年8月に多治見市及び埼玉県熊谷市において最高気温40.9度が記録されたことが契機になっており、翌年から消防庁では夏期における熱中症の救急搬送状況調査を全国的に開始しました。平成26年6月～9月までの調査では全国の救急搬送人員は実に4万48人にのぼっています。

また、可茂消防管内の今年7月20日までににおける熱中症（疑いを含む）救急搬送人員は25名となっております。今後も十分な注意が必要です！

■熱中症は屋外だけではなく室内でも発生しているため、室内温度を確認するなど熱中症にならないような注意が必要です。熱中症を防ぐために、次のような点に注意してください。

- ① 部屋の温度をこまめにチェックしましょう。
- ② 室温28度を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう。
- ③ のどが渴いたと感じたら必ず水分補給をしましょう。
- ④ のどが渴かなくてもこまめに水分補給をしましょう。
- ⑤ 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策をしましょう。
- ⑥ 無理せず、適度に休憩をとりましょう。

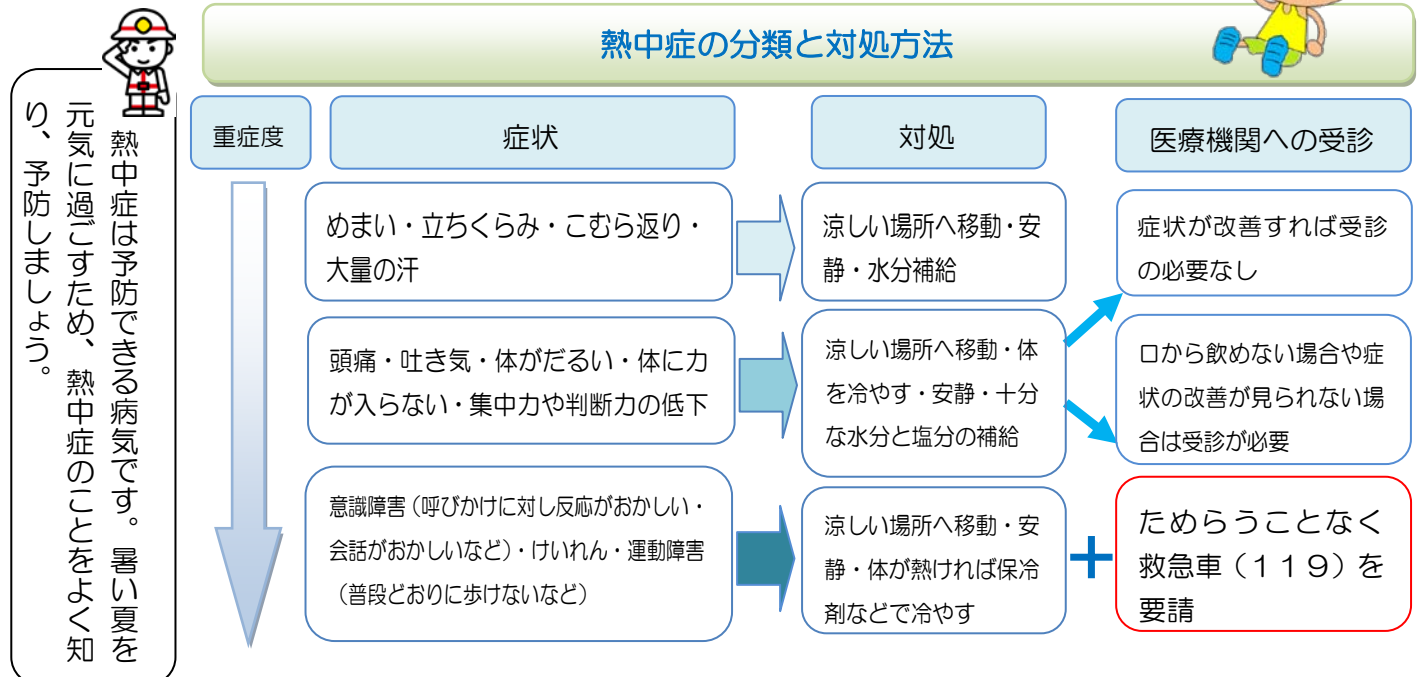
◆熱中症の詳細については下記のホームページでも確認できます。

環境省：「熱中症環境保健マニュアル」 http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/manual.html

消防庁：「熱中症情報」 <http://www.fdma.go.jp/>



熱中症の分類と対処方法



参考：環境省「熱中症環境保健マニュアル」